

愛川小田急多摩線延伸促進協議会だより

第12号

令和 6 年 3 月 発行

発行／愛川小田急多摩線延伸促進協議会 編集／愛川町企画政策課

延伸の早期実現について要望活動を展開

令和6年1月に相模原市及び町田市の住民団体と合同で神奈川県、小田急電鉄(株)、町田市、相模原市に対し、4年ぶりに対面での要望活動を行いました。小田急多摩線の延伸は、首都圏南西部の今後の発展になくてはならないものであり、人口減少や高齢化が進行する中においても、都市機能の集積、産業の活性化、交流人口の拡大など持続的な発展に向けた礎となります。要望活動では、延伸の実現に向けて、延伸線沿線地域のさらなる魅力の向上や延伸に資するまちづくりの動向などについて説明をするとともに、各団体の取組みや考えなどについて、意見交

相模原市への要望



町田市への要望



換を行いました。今後も粘り強く、関係団体と一体となって要望活動を展開してまいります。

各種イベントでのPRや関係団体と連携した取組みを推進

■各種イベントでのPR活動

4年ぶりの開催となった勤労祭野外フェスティバルやふるさとまつりにおいて、PR活動を展開しました。県の「かながわ交通計画」では、愛川・厚木方面への延伸について、今後のまちづくりの動向等を踏まえ検討するものとされていますので、PR活動などを通して機運醸成を図っています。



勉強会の様子



■近隣市の住民団体との合同勉強会へ参加

小田急多摩線の延伸を促進する住民団体5団体合同の勉強会へ参加しました。勉強会では、相模原市職員から事業の経過や延伸に係る都市鉄道等利便増進法等の詳細について説明を受け、認識を深めるとともに、各団体の取組み状況を踏まえた意見交換を実施しました。

古座野新会長あいさつ

令和5年度から会長の任を賜りました町区長会長の古座野と申します。本町には、大正から昭和初期にかけて、東京の渋谷から愛川町田代までを結ぶ「相武電車」の計画がありました。多くの人の尽力により、一部区間では線路の敷設認可が下り、工事も行われましたが、関東大震災や昭和恐慌の影響により資金難となり、あえなく廃業となってしまいました。こうした歴史からも紐解けるように、愛川町に鉄道を敷くことは、町民の長年の夢であり、現代を生きる我々の願いでもあります。鉄道の敷



古座野会長



瀧前会長への花束贈呈

設は一朝一夕にいくものではありませんが、小田急多摩線の延伸は令和4年に改定された「かながわ交通計画」において、愛川・厚木方面への延伸が新たに構想路線として位置付けられるなど、実現に向けて一步一步前進しております。先人や瀧前会長の思いを継承しながら、引き続き粘り強く延伸実現に向け取り組んでまいりますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

小田急の子育て応援マスコットキャラクター「もころん」デビュー



©小田急電鉄(株)

小田急電鉄(株)では、「子育て応援ポリシー」を掲げ、少子高齢化に対する鉄道会社ならではのアプローチとして、小児IC運賃の全区間一律50円化や、小田急通勤車両の3号車を子育て応援車両とするなど、子育て応援の取組みを充実させています。こうした中、昨年8月に電車でのお出かけや沿線でのイベントなどを一緒に楽しみ、笑顔を育むため、子育て応援マスコット「もころん」がデビューしました。同社のHPでは、「もころん」の紹介や、親子向けイベント情報等を掲載しています。週末は家族揃って電車に乗ってお出かけしてみませんか!? 詳細は [FunFanおだきゅう](#) で検索

愛川小田急多摩線延伸促進協議会の構成団体（42団体）

〔自治会〕

川北区、宮本区、原臼区、両向区、細野区、田代区、角田区、三増区、箕輪区、小沢区、上熊坂区、熊坂区、下谷八菅山区、二井坂区、桜台区、半縄区、坂本区、六倉区、大塚区、桜台団地区、春日台区

〔商工団体〕

愛甲商工会、神奈川県内陸工業団地協同組合、愛川工業クラブ、大塚下団地共栄会、（一財）繊維産業会、（公社）厚木法人会愛川支部、（一社）厚木青色申告会愛川地区会、あいちゃん商店会、愛川町観光協会、愛川町食品衛生協会、（一社）愛川町建設業協会、愛川管工事協会、愛川町電設協会、愛甲造園組合、愛川町自動車整備協会、愛川液化ガス協同組合、愛甲商工会青年部、愛甲商工会女性部、中津川漁業協同組合、（一社）神奈川県建築士事務所協会愛川支部、愛川町商業振興協同組合 《順不同》